

# 株式会社太田化成商会 第39期

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年11月1日~ 2021 年10月31日)





作成日: 2021年2月20日 更新日: 2022年3月28日

## 目 次

項目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10







阪急宝塚線 服部天神駅より約1.3km徒歩約17分

#### 口ごあいさつ

当社は昭和58年(1983年)に再生溶剤販売業及び産業廃棄物収集運搬業を大阪府豊中市に創業(設立)し、縁あって、平成28年(2016年)に私が代表者に就任致しました。

事業継承後は、危険物の産業廃棄物収集運搬業に特化した熟練のドライバーの知識やノウハウを引き継ぎ、従来のスタイルも守りつつ、私の主義である、人と人のつながりを大切に、環境保全は人とのつながりから始まる。 "your smile is our happiness" の経営理念を真髄にして事業を行って参りました。

また、環境コーディネーターとして、より高度化、複雑化する廃棄物を最適な処理会社へコネクトして多様化するお客様のニーズに、的確に技術とサービスを提供しております。

昭和、平成、令和へと時代の変化、私たちを取り巻く環境も大きく様変わりしており環境問題はより深刻に、 企業においても、また個人一人一人の課題や責任は大きなものになっているのではないでしょうか。

エコアクション21の取り組みを通して、環境問題に向き合い、意識を高め、使命をもって企業の成長、また従業員ひとりひとりにおいても成長し続ける会社でありたいと存じます。

## 環境経営方針

## <環境経営理念>

廃棄物による、環境汚染。環境破壊が年々深刻化する中、経済優先の時代は終わりを告げ、 循環型社会を築くべき時代が到来しています。我々は、こうした時代の要請にお応えするため、廃棄物処理を担う者の立場で循環型社会を構築すべく努力し、社会に貢献できるよう に、事業展開を図っております。

そのため、本業である産業廃棄物収集運搬業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

## <環境保全への行動指針>

- 1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2. 事業所や車両の省エネに努めます。
- 3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
- 4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5. 循環型社会に関する意識を向上する社員教育を実施します。
- 6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日: 2020年11月1日

代表取締役 平田晋作

<u>□組織の概要</u> 更新日: 2022年3月18日

(1)名称及び代表者名 株式会社太田化成商会 代表取締役 平田 晋作

(2) 所在地

本 社 大阪府豊中市利倉東1丁目14番18号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者総務部岩田 貴子TEL:06-6866-1700担当者総務部松田 あゆみTEL:06-6866-1700

(4) 事業内容

産業廃棄物の収集運搬

(5) 事業の規模

法人設立 1983年4月5日 資本金 1,000万円 売上高 11.859万円

<u> </u>	11,000 /3   1
	本社
従業員	6 名
延べ床面積	$4 3 \text{ m}^2$

受託した産業廃棄

収集運搬量 3,986 t

所有車両

車種	台数	備考
キャブオーバー	3 台	最大積載3700kg、3600kg、3150kg
脱着装置付きコンテナ車	2 台	最大積載3700kg、8000kg
合計	5 台	

#### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社太田化成商会

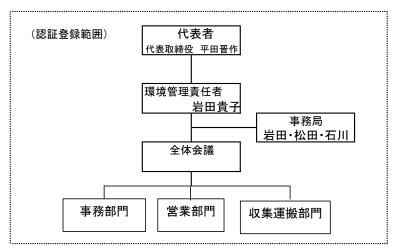
対象事業所: 本社

活動: 産業廃棄物の収集運搬

#### □事業の紹介



## □環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割·責任·権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、全体会議の事務局
	<ul><li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li></ul>
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	- 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	▶・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全体会議	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
全従業員	<ul><li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li></ul>
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

更新日: 2022年3月18日

#### 口許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

<u> </u>	X未连 顺未订	-300130																				
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	燃え殻	汚泥	廃 プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず		ガラス	がれ	廃	廃	廃アル	属く	動植物性残さ	いじん	物 系	さい	
大阪府	02700002248	令和2年5月21日	令和7年5月20日	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
兵庫県	02804002248	平成31年2月13日	令和6年2月12日	無	0	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
京都府	02600002248	令和4年1月31日	令和6年5月16日	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良県	02900002248	平成29年7月3日	令和4年7月2日	無		0	0	0	О	0	О	О	0	0	О	0	О					
滋賀県	02501002248	令和2年11月11日	令和7年10月19日	無		0	0					0		0	0	0	0					
愛知県	02300002248	平成31年3月8日	令和6年2月2日	無		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0					
岡山県	03308002248	令和1年5月9日	令和6年3月8日	無	0	0	0					0		0	0	0	0		0			
三重県	02400002248	令和3年9月14日	令和8年9月13日	無	0	0	0	Ō	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

<u>/// 6 年注</u>	<b>卡庞米彻以未</b>	(生)	<u> </u>																	
				廃棄物の種類																
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	麸			廃酸	ァ	石	水銀	感染性廃棄物									
大阪府	02750002248	平成30年7月1日	令和5年6月30日	無	0	0	0	0	0	0										
兵庫県	02854002248	平成30年7月1日	令和5年6月30日	無	0	0	0	0	0	0	0								П	
京都府	02650002248	令和1年9月20日	令和5年6月30日	無	0	0	0	0	0		0								П	
奈良県	02950002248	平成30年6月23日	令和5年6月22日	無	0	0	0	0	0		0									
滋賀県	02551002248	平成30年11月6日	令和5年10月18日	無	0	0	0	0	0		0									
愛知県	02350002248	平成31年3月8日	令和6年2月2日	無		0	0	0											П	
岡山県	03358002248	令和1年5月20日	令和6年3月8日	無		0	0	0	0		0								$\Box$	
三重県	02450002248	令和3年9月14日	令和8年9月13日	無	0	0	0	0	0		0									

## 口廃棄物処理フロー



口主な環境負荷の実績

いっかいつしょく いしょく フトリス			
項目	単位	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	$kg\text{-}CO_2$	82,308	102,560
受託収集運搬量	トン	3,986	4,330
廃棄物排出量	kg	360	360
一般廃棄物排出量	kg	360	360
産業廃棄物排出量	kg	0	0
水使用量	m³	22	35

※二酸化炭素排出係数

0.418 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後の係数

※2021年は、2020年11月1日~2021年10月31日の1年間の数値

□環境経営目標及びその実績

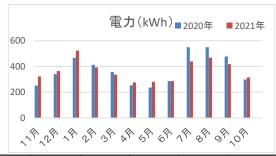
児粧呂日悰及ひての夫権	<b>浸</b>						
		基準値	202	1年		2022年	2023年
項目					評価		
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素	kg-C02	1,776	1,758	1,849	X	1,741	1,723
削減	基準年度比	2020年	99%	114%		98%	97%
自動車燃料による二酸	kg-C02	80,532	79,727	100,710	×	78,921	78,116
化炭素削減	基準年度比	2020年	99%	174%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量台	kg-CO2	82,308	81,485	102,560		80,662	79,839
  一般廃棄物の削減	kg	360	353	360	×	353	349
/ N. C.	基準年度比	2021年	98%	100%		98%	97%
受託量の拡大	t	3,986	4,026	4,331	0	4,066	4,106
	基準年度比	2021年	101%	109%	-	102%	103%
水道水の削減	m³	22	22		X		21
	基準年度比	2021年	99%	159%		98%	97%
環境に配慮した収集運 搬			行動目標	票(次項による	5)		

※当社では産業廃棄物排出量がゼロに近いため、目標項目としません。

#### □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: 〇達成 ×未達成

一		
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	X	エアコンの清掃を実施出来なかったことが、消費電力に影響が出
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	Δ	たことが予測される。皆での取り組みとして清掃の当番制を設け
・不要照明の消灯	0	るなど課題。使えるものは継続して使用する方がよいが電力のこ
・OA機器の省エネモード敢行	0	とを重点的に捉えると省エネタイプのエアコンへの更新も視野に
・エアコン清掃	×	入れる。エアコン以外の消費電力は(コピー機、照明)継続してエ
		コを意識した取り組みができた。駐車スペースの照明も含めて、点
		灯開始時間と消灯時間の取り決め設けることも課題点



#### 取組紹介欄

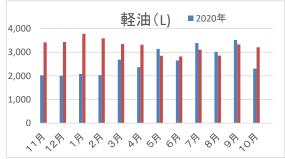
消費電力の削減のために、必要最低限の箇所のみ 点灯する様に努め、冷房28℃暖房20℃を実施中。 冬場の暖房20℃設定を維持するため、床にタイル カーペットを敷き体感温度の向上に努めている。





	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年	252	340	467	413	357	254	236	286	549	549	477	299
2021年	323	364	524	393	336	277	281	286	440	468	418	314

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数值目標	X	活動期間を通して、アイドリングストップ・効果的ルート運搬は実施
・アイドリングストップ	0	できていると自己評価している。
・効率的なルートで収集運搬	0	
		受託量の拡大をまだ目指しているので、今後も受託量に比例して
		使用量は増加する予測。



#### 取組紹介欄

配車担当者が当日の定期収集・スポット収集の効率ドルートを加味したスケジュールを組み立て、時には委請事業者へ収集日の変更を依頼し、二酸化炭素排出の削減に努めている。



## アイドリング ストップ宣言

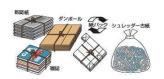
収集運搬部門ではアイドリングストップ・ エコドライブ宣言を実施しています。

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年	2,024	2,002	2,087	2,031	2,690	2,368	3,136	2,656	3,386	3,011	3,516	2,307
2021年	3,413	3,434	3,775	3,584	3,339	3,315	2,850	2,823	3,111	2,860	3,328	3,203

一般廃棄物の削減	戓	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		X	問題点是正 参照 契約書類はPDF化を取り進めているが、製本
・分別の徹底		0	タイプのPDFの場合、一旦すべてコピーする必要があるので、実
<ul><li>・シュレッダー廃</li></ul>	延紙のリサイクル化	×	質の削減は今後長期的な課題
・帳票見直しによ	る印刷物の削減	Δ	
・梱包材の再利用	]	0	
一般廃棄物(kg) 2021年 ■2021年			取組紹介欄



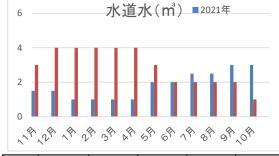
豊中市の分別ルールに従い分別する他 ダンボール材の再利用、シュレッダー古紙の 緩衝材利用にも取り組んでいます。



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
2021年	25	60	15	15	30	10	30	45	45	30	15	40

受託量の拡大	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0	・営業活動については、毎週経営営業会議で検討・対策を講じて
・営業活動	0	いる。
・HP等広報活動	×	・HPについては、許可有効日を最新に更新したがトピックとしての
・リサイクル方法の提案	0	更新作業ができなかった
		・リサイクル提案については、商談時には常に提案する様に社内

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・節水ポスターを掲示し、常に節水を意識してきたが、結果使用量
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		が増えてしまっている。
<ul><li>社用車の洗車節水を励行</li></ul>	0	▶・要因は運搬量の拡大によるものであるが、節水コマに代わる対 ┃
		策を検討しているが、現時点で有効な対策が見いだされていな
		い。



#### 取組紹介欄

車両洗浄には高圧洗浄機を使用し、節水に努めている。





	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2021年	2	2	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3
2021年	3	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	1

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	0	消費燃料の削減のためにも、この課題は毎年の最重点課題とし、
・エコドライブの推進(燃料使用量は別項目で実施)	0	毎年クリアできるよう心掛けたい。
・車両の清掃	0	



高圧洗浄機による、節水・洗浄能力・作業時間に 効率的な車両清掃に努めている。

## 口環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反,訴訟の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

公司我仍在文字包工资深况因是囚机中的人的题》です。							
適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)						
	収集運搬業、一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ等)						
	収集運搬車						
家電リサイクル法	家庭用エアコン、冷蔵庫						
自動車NO x ・PM法	1, 4ナンバーのトラック、バン						
顧客要求事項	マネジメントシステムの取得						

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

#### □緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2021年12月29日	■実施場所 1 F 車庫
■参加者: 全員	■実施内容:
	・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価:	手順書の変更の必要性□ あり ☑ なし

手順書記載の通り実施することができた。

#### ■実施状況の様子

昨年に引き続き、事務部門・営業部門・収集運搬部門の 全員参加で漏洩時の訓練を実施した。 また、敷地内で出火原因になりそうな箇所についても確認・

点検を実施した。



実施日: 2022年3月18日

・エコアクション21への取り組みの初年度としまして、

PDCAサイクルを基礎とし、【株式会社太田化成商会】の環境経営を実施し、環境負荷に対する全従業員の意識に変化が見られました。達成不可能な目標を掲げるのでなく、小さな事柄でも1つ1つ達成が可能である取組みから始め、現状の把握・従業員一人一人への役割や・より具体的な課題など、より詳細に明確化する必要性を感じました。

また、この取り組み以前より実施していた、効率のよいルートでの配車の手配は安全面はもとより、環境を保全する行動に繋がっていることとして評価でき、引き続き、実施してまいります。

・次年度に向けては、全社レベルの意識向上と従業員の活動状況を短周期で点検・改善を図るため、全体会議の回数を増やす事を経営幹部会議で決定しました。

また、活動フローとしては、

代表取締役が率先し環境を意識した経営を実践することで、従業員に浸透する。

・ 従業員に浸透することで、企業として環境保全に貢献する。

企業としての取組みを取引先等に周知することで、その取組みは広がり、やがて地球全体規模と広がる。

と 環境活動に貢献できるものと確信し代表者自らが率先し全社で信念をもって活動します。

環境経営方針 ② 変更なし □ 変更あり 環境経営目標・計画 ② 変更なし □ 変更あり 実施体制 ② 変更なし □ 変更あり

#### 口当社における社会貢献活動の紹介





- ・弊社事務所の横にある公園の周辺・側溝の清掃活動に参加した従業員の様子
- ・1年間活動しての従業員の感想

#### 収集運搬部門

- ・1年を通して活動する中で、目標を達成する事の大変さを実感致しました。 次年度はさらに意識を高めて活動していきたいです。(石川)
- ・日々のトラックでの業務において、急加速、急ブレーキを抑制し、エコドライブの意識を高く持ち、 効率的なルート選択をして燃料による二酸化炭素排出量の削減を目指します。(枡井)
- ・昼食をなるべく弁当持参にし、ごみの削減に努めます。(後藤)
- ・燃費向上を目指し、急発進、急停止をしない様に心がけ日々の配送を致します。(佐々木)

#### 事務部門

・表にする事で改めて継続すべき点と改善すべき点が明確になり、特に最近は電力不足のニュースも 度々目にしますので、もう少し節電に力を入れていこうと思いました。

#### 口編集後記

エコアクションの取り組みも2年目を迎えて、感じたこととして受注量の増加等により、一部において 目標達成ができなかったり、営業活動とエコ活動のバランスが難しい局面もあったが、出来ることから継続して、 改善すべき点については役割分担をより明確にして今後の成果につなげていきたいです。

事務局:岩田